

ダイキン流：経営を加速させる「クリエイティブな知財部」への変革



防衛型



クリエイティブな伴走者

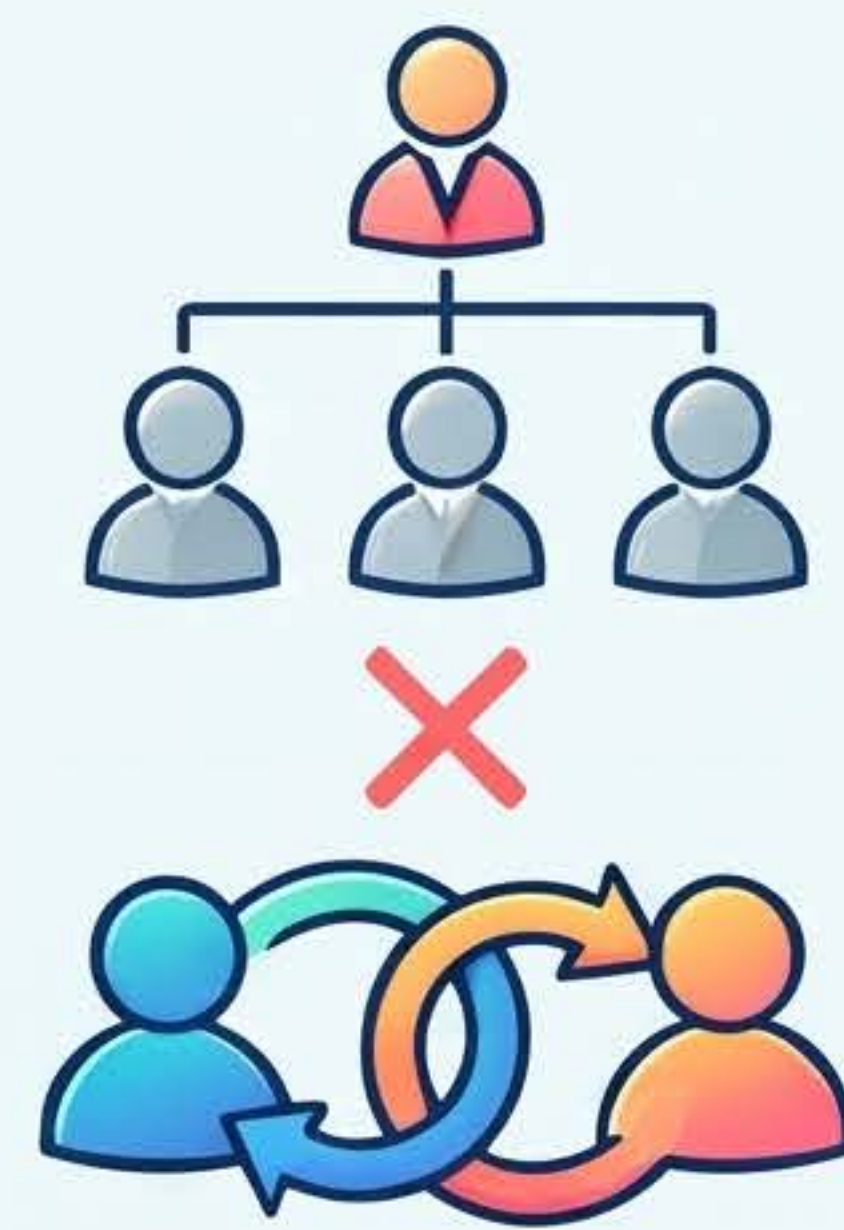
ステップ1：知財部門の役割を「再定義」する



特許取得

ビジネスモデル構築

単なる権利の束を作るのではなく、データ契約やルール形成を含めた法的な事業保護を目指す。



伴走型組織

本社知財部と現場間で人材をクロスアサインし、開発の上流工程から対話を通じて伴走。



技術 法律 ビジネス

組織の進化

縦割りの権利化業務を捨て、技術・法律・ビジネスを融合して事業をデザインする組織へ進化。

ステップ2：価値を最大化する「攻め」の戦略



オープン・クローズ戦略による

市場創出

オープン・クローズ戦略による市場創出



未濃冷媒

R32冷媒
無償開放



核心技術

多層的な
特許網

高収益確保



全社の意思決定データ

知財DXとAIによる「知財の民主化」
定型業務をAIに任せ、特許情報を専門家以外も使いこなせる「全社の意思決定データ」へ変革。



技術の本質
を捉える力

情報
俯瞰力

事業で
勝ち続ける
仕組み

3つの強みを掛け合わせた価値最大化



実績・指標



連結売上高

5兆円超

(海外売上比率 約84%)



知財評価

特許価値成長力ラン
キング2025 第2位



外部評価

Innovation Momentum:
Global Top 100 (3年連続退出)